

選択的評価基準

地域貢献の取り組みについて

【選択的評価基準】

3. 地域貢献の取り組みについて

基準（１）地域社会に向けた公開講座、生涯学習授業、正規授業の開放等を実施している。

(a) 現状

本学が主催する公開講座などの実施はないものの、自治体などが主催する生涯学習などに関する講座への講師派遣は行っている。今後は地域のニーズを把握し、公開講座などの実施について検討していく。

(b) 課題

現時点で本学が主催する公開講座などは実施されておらず、実施に向けた取組が求められる。

(c) 改善計画

近隣の地区公民館における市民向け講座などの実施について、教学委員会を中心に検討を行う。

基準（２）地域社会の行政、商工業、教育機関及び文化団体等と交流活動を行っている。

(a) 現状

(2-1) 総合発表会における子どもへの観劇機会の提供

保育科では、学生生活の集大成として総合発表会を行っている。「総合発表会」では、平成 10（1998）年以降、歌唱や演奏という「音楽」表現、ダンスや振り付けなどの「身体」表現にくわえ大道具、小道具、衣装の制作といった「造形」表現、さらには脚本・演出などの「言語」表現と言った保育者に求められる総合的な表現力という保育科の 3 つの方針に基づく学習成果獲得の集大成として、「オペレッタ」を上演している。「総合発表会」は飯塚市の後援を受け、イイツカコスモスコモンにて、一般に向けて無料で公開している。

近隣の幼稚園や保育所の園児を招待し、卒業生も多数来場している。オペレッタの上演は、地域の幼稚園・保育所・児童養護施設に案内され、子どもたちへの観劇機会を提供している。過去 3 か年の来場実績は以下の通りである。

	平成 24 年	平成 23 年	平成 22 年
子ども	421	407	310
一般	547	442	537
合計	968	849	847

(2-2) 「保育士現職研修」の実施

本学では、飯塚市と連携し、飯塚市内の公立保育所に勤務する保育士の現職研修を行い、保育の質を高め、本学教員の専門性を地域に還元している。研修実施にあたっては、飯塚市役所こども育成課にて参加者をとりまとめ、本学において研修を実施している。過去 3 か年の研修会の実績は以下の通りである。

「飯塚市保育士研修」実績（保育連携促進事業）

開催日	参加者	テーマ	内 容
平成 24 年 9/13 10/24	60 人 60 人	カウンセリング入門 保育施設実習	保護者の話を上手に聞くには 保育所における福祉人材育成と連携
平成 23 年 10/27 11/18	76 人 59 人	ことばの発達 音楽	ことばの発達メカニズム 音楽表現遊び、手遊び
平成 22 年 10/28 11/19 12/20 1/25 2/24 3/15	30 人 40 人 40 人 40 人 50 人 40 人	絵画 音楽 音楽 科学遊び 発達 多文化共生	幼児の造形能力の発達と絵の見方 幼児の歌あそび・リズム遊び 心体と声の繋がり、無理のない発声法 インターネットで遊ぼう・紙飛行機 子どもの発達の理解、保育者の対応 多文化共生保育とは

（2-3）地域住民と大学生の連携推進事業

平成 23（2011）年度より、飯塚市中心市街地基本計画の一環として実施されている「飯塚駅前通りコミュニティサロン運営事業」に本学の学生、教員が参画している。JR 飯塚駅前に設置した「駅前コミュニティサロン」を拠点として、地域住民と本学学生および教員の協働による地域の活性化に取り組んでいる。学生作品の展示やパソコン教室を基軸に、以下のような活動を行っている。

- ①学生作品や地域住民の趣味作品などを展示する展示会の開催
- ②地域住民と学生との協働による「もちつき会」の実施
- ③地域住民と学生との協働による「桜まつり」の実施
- ④地域づくり活動がより良くするための月 1 回程度の会合
- ⑤地域づくりに関する専門家を招き、勉強会の開催
- ⑥近隣市町村の自治会との交流

以上の活動により、次のことが期待できる。

- ①学生や地域住民の作品発表の場となることで異世代間のコミュニケーションが期待できる。
- ②これまで中断していた「もちつき会」、「桜まつり」を復活、継続することにより、地域づくりの意識を高めることができる。
- ③月 1 回程度の会合により、地域住民と学生が地域づくりをキーワードにして、コミュニケーションを深めることができる。
- ④他地域の活動などを知ることにより、菰田地区のまちづくりの参考とすることができる。

(b) 課題

地域との交流は活発であり、今後も活動を継続するとともに、諸団体との連携の深化に

努める。

(c) 改善計画

地域貢献活動やボランティア活動に参加している教員とそうでない教員との差が生じているため、個々の教員がより一層地域貢献活動に従事できるよう、組織的に取り組む。

基準（3）教職員及び学生がボランティア活動等を通じて地域に貢献している。

(a) 現状

筑豊地域唯一の短期大学であるため、自治体や各種団体からのボランティア派遣要請が多い。こうした要請に応じ、教職員および学生は、積極的に地域貢献活動に参加している。個人としての参加以外の本学のクラブ活動など、組織的な取組の活動実績は、次の通りである。

(3-1) 幼児教育研究会の活動

幼児教育研究会は、保育科の学生を中心に組織されている。同研究会は、地域の保育・幼児教育関連施設において積極的にボランティア活動を実施している。同会の顧問は保育科の教員が務めており、保育科全体で組織的に同会の活動を支援している。毎年、おおむね30名程度の学生が同会に所属し、ボランティア活動を行っている。

以下に、幼児教育研究会の主な活動実績を記載する。

【活動実績】

1) 近畿大学九州短期大学附属幼稚園における活動

- ①毎週2、3回4時限目終了時から17時まで、預かり保育における補助
- ②預かり保育における集団遊びの指導
- ③夏祭りの補助
- ④年長児のお泊まり保育（1泊2日）における補助

2) 地域の保育園や幼稚園での活動

- ①遠足や運動会、生活発表会、餅つき大会などの補助ボランティア

3) 飯塚市役所からの要請

- ①市立保育園の芝生植え
- ②「飯塚市きづなフェスタ」「エコスタいいづか」「飯塚市灯明祭り」など地域行事への参加

4) 地域の「子育て支援」

- ①飯塚商店街の中にある「街なか子育てひろば」におけるボランティア活動
 - ・毎週土曜日10時から12時までボランティアとして参加
 - ・スタッフの手伝いをしながら、地域の保護者や子どもたちとの交流
- ②桂川町における親子参加型の子育て支援活動

(3-2) ふれあいサマースクーリングへの参加

飯塚市が主催し、NPO 法人いいづか障害児者団体協議会が主体となって実施されている「ふれあいサマースクーリング」事業には保育科教員、学生がボランティアとして参加している。同事業は、毎年5日程度実施されている。

本学は要請を受け、毎年40名程度の学生が参加している。ボランティアとして参加す

る学生は、プログラムに応じて、参加者である障がい児の活動の援助を行う。その他、学生が事前準備を行い、学生企画によるレクリエーションなども実施している。

活動概要、過去3か年の活動実績は次の通りである。

【活動実績】

・平成24年度（第26回）

実施日程：平成24年7月24日（火）～27日（金）9：30～15：00

場 所：サン・アビリティーズいづか、夜須高原少年自然の家

参加人数：141名（障がい児26名、ボランティアなど115名）

参加した本学の学生数：39名（1年39名）

・平成23年度（第25回）

実施日程：平成23年7月26日（火）～29日（金）9：30～15：00

場 所：サン・アビリティーズいづか、麻生塾ボウル

参加人数：207名（障がい児27名、ボランティアなど180名）

参加した本学の学生数：45名（1年41名、2年4名）

・平成22年度（第24回）

実施日程：平成22年7月21日（火）～24日（金）9：30～15：00

場 所：サン・アビリティーズいづか、飯塚アイスパレス

参加人数：322名（障がい児35名、ボランティアなど287名）

参加した本学の学生数：44名（1年41名、2年4名）

（3-3）トゥインクル・キャッツとの合同音楽会の実施

トゥインクル・キャッツ（以下、同サークルと表記）は、中学1年生～38歳までの17名による障がい児・者のミュージックサークルである。本学保育科の教員を中心として同サークルと連携し、ボランティア活動を実施している。同サークルは、毎年、飯塚市の多目的文化施設「イヅカコスモスコモン」にて、8月中～下旬に「愛いっぱいコンサート」を開催している。

教員・学生は、同コンサートの準備段階から当日の運営までをボランティアスタッフとしてサポートする。主な内容は、次の通りである。

- 1) Twinkle・Catsメンバーのマンツーマンサポート（音楽劇、器楽演奏）
- 2) 音楽劇での配役
- 3) 音楽劇での裏方スタッフ（大道具、ナレーション、会場アナウンス）
- 4) コンサート当日のボランティア（受付、会場係、物品販売）

活動概要、過去3か年の活動実績は以下の通りである。

【活動実績】

・平成24年度（第9回）

日 時：2012年8月10日（金）

場 所：イヅカコスモスコモン中ホール

音楽劇演目：「竜馬物語」

参加した本学の学生数：59名（当日のみ12名を含む）

練習日日程：6/29（金）、7/6（金）、7/13（金）、7/20（金）、7/26（木）、8/9（木）

・平成 23 年度 (第 8 回)

日 時 : 2011 年 8 月 25 日 (木)

場 所 : イイツカコスモスコモン中ホール

音楽劇演目 : 「オズの魔法使い」

参加した本学の学生数 : 61 名 (当日のみ 37 名を含む)

練習日日程 : 7/1 (金)、7/8 (金)、7/15 (金)、7/28 (木)、8/3 (水)、8/18 (木)、
8/24 (水)

・平成 22 年度 (第 7 回)

日 時 : 2010 年 8 月 27 日 (金)

場 所 : イイツカコスモスコモン中ホール

音楽劇演目 : 「黄門さまと紫ずきん」

参加した本学の学生数 : 44 名 (当日のみ 23 名を含む)

練習日日程 : 7/9 (金)、7/16 (金)、7/27 (火)、8/11 (水)、8/19 (木)、8/26 (木)

(3-4) ボランティア部

本学の位置する菰田中学校の校区人口は、約 4,200 人と飯塚市内では最も少なく、逆に高齢化率は 29.3%と市内では最も高く、菰田小学校における生徒数も 148 人と、菰田校区は将来の日本の姿 (少子高齢社会) を先取りしている状況にある。教育施設も本学をはじめ、幼稚園、小学校、中学校と地域人口からすると恵まれた教育環境にあるものの、教職員も高齢化が進み、児童・生徒との年齢格差も拡大の傾向にある。

このように典型的な少子高齢社会となった地域において、若い学生が多数在籍する本学に対する期待も大きいため、現在、高齢者施設での介護ボランティア、小中学校への学生サポーター派遣、まつり菰田・山笠への参加などにより菰田地区の活性化を図っている。

さらに、活動にあたる学生にとっても次のことが期待できる。

- (1) 学生の責任感と自立心を養うことができ、児童や高齢者への多様な支援が可能となる。
- (2) 児童が学生へ親近感を持つことで興味・関心・意欲を持った学習となると同時に、学生も児童、生徒、教員、保護者との交流を通して、人とのつながりを形成できる。
- (3) 学生が持つ力や個性を 1 つの場に結集、組み合わせることで、清掃活動の人手不足など地域の問題解決に貢献しながら、社会のルールを学ぶことができ、就職活動やインターンシップの事前学習となる。

現在、部員 38 人 (1 年 18 人、2 年 20 人) で組織され、年間を通じて、次の活動を行っている。

【活動実績】

1) 学校サポート

- ・菰田小学校 (体力測定、運動会、プール清掃、愛校作業、夏季キャンプ、もちつき)
- ・菰田中学校 (体育会、駅伝大会)
- ・飯塚市適応指導教室「コスモス」(不登校生徒支援)

2) 福祉活動

- ・高齢者施設 (秋祭り、敬老会、介護補助)
- ・飯塚市主催 (みんなの健康福祉のつどい)

- ・菰田保育園（もちつき）

3) 地域活動

- ・飯塚市青年会議所主催（小学生アイデア料理コンテスト）
- ・I LOVE 遠賀川実行委員会主催（I LOVE 遠賀川）
- ・菰田流れ駅通り（飯塚市山笠）

(b) 課題

地域との交流は活発であり、今後も活動を継続するとともに、地域団体との連携を深めていく。また、教育機関や福祉施設などに学生を派遣することから、事前学習の充実により、より質の高い貢献ができるよう、組織的に努力していきたい。

(c) 改善計画

実際に、ボランティア活動の単位認定や、事前学習と事後学習（振り返り）の機会を設定するなど学生によるボランティア活動を組織的に支援し、筑豊地域唯一の短期大学としてのプレゼンスをより一層確立したい。